

# 「諸口紙」を知っていますか？

～頼山陽史跡資料館における最新の調査研究成果から～

最新の調査研究により、広島藩の文書行政に「諸口紙」が果たした役割が明らかになりました。

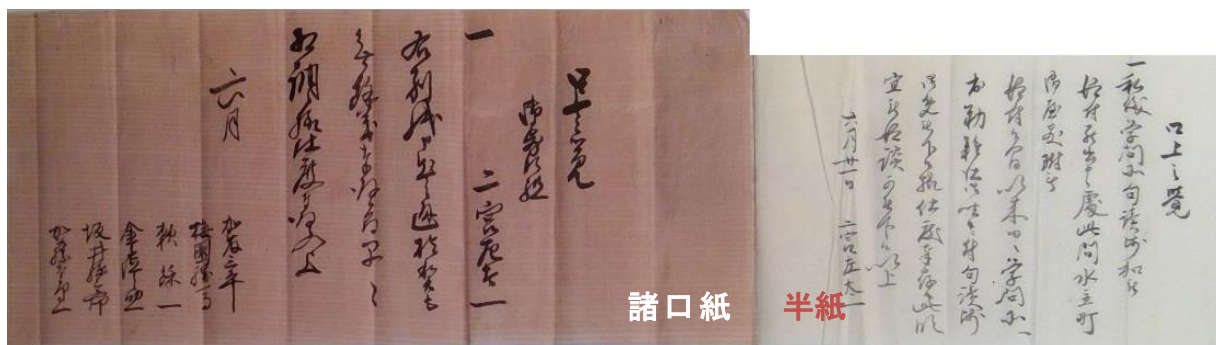
## これまで分かっていたこと

「諸口紙」は、江戸時代中期から廃藩置県まで広島藩の公用紙として使用された淡<sup>うすあかねいろ</sup>茜色の紙です。これまで、県内の古文書群に淡茜色の文書が多く含まれることが確認されていました。

## 明らかになった事実

当館所蔵「**広島頼家関係資料**」の中に残されていた「諸口紙」の文書を分析した結果、**広島藩の行政に「諸口紙」が果たした役割が明らかになってきました。**

- 広島藩は、文書の重要度や授受者の立場に応じて紙を使い分けており、「諸口紙」は藩政務に関する文書や重要な帳面類などの実務に幅広く使用されていました。
- 淡茜色に染めた「諸口紙」を使用することで、藩の文書であることを一目で識別できるように工夫されていました。
- 「諸口紙」を顕微鏡で観察した結果、<sup>こうぞせい</sup>楮製で、米粉が含まれており、<sup>す</sup>均質に漉かれた紙であることが分かりました。



### 今回の調査研究成果に関する速報展を開催します！

- 1 **会期** 平成31年4月27日(土)～平成31年5月26日(日)  
 (開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)  
 休館日 月曜日(祝休日の場合は開館し、翌平日に休館))
- 2 **入館料** 一般200円(160円) 大学生150円(120円) 高校生以下・満65歳以上無料  
 ( )は団体20名以上
- 3 **展示解説会** 平成31年5月4日(土)及び5月18日(土)(いずれも13時30分から)